

MULTIPLEX  
Micro JET マイクロジェット キット 組み立て補助説明書

当説明書は、キットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。  
各国語版の「GB」のページ(P9～12)が英語表記です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ラジコン飛行機は取扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備えてください。



**警告 注意 安全のための確認**

- 1) 本機体は操縦が難しく高速で飛行する上級者向けの機体で、入門者の単独飛行は困難です。  
経験のあるフライヤーに指導を仰いでください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。  
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。  
特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。  
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。  
モーターのスピードコントローラーの取扱いにも熟知してください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を手投げする時は人に向けてはいけません。人を背後にした向きで手投げしてください。  
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 本機体はプロペラが後方にあるプッシャータイプです。  
手投げの時は決してプロペラが手に触れないように注意して手投げしてください。
- 7) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。  
熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなりパワーが低下します。  
モーターの温度を確かめるときに火傷に注意してください。

### キット内容のチェック

各国語版説明書 P12のパーツリスト、及びP15のイラストに沿って欠品がないか調べます。もし欠品や破損品がある場合は Hite Multiplex Japan にご連絡ください。

### 推奨搭載メカ等

- ・送信機: 3ch以上のエレボン(エレベーター + エルロン)機能を有する送信機  
又はVテールミキサー + 通常の3ch以上の送信機
- ・受信機: Hitec Micro 05S 重量8.6g
- ・サーボ: Hitec HS-55 × 2 重量8.0g
- ・スピードコントローラー: 10A以上
- ・動力用バッテリー: 6セル600mAh ~ 7セル500mAh Ni - cd、Ni - MH

### 機体データ

- ・全長 545mm
- ・全幅 580mm
- ・翼面積 12.4 dm<sup>2</sup>
- ・重量 450g
- ・翼面荷重 36g dm<sup>2</sup>
- ・モーター Permax400

### 接着剤

当製品のメイン素材はEPP系のELAPOR Formです。EPPに似てシンナー溶剤には溶けにくい性質がありますのでELAPOR Form同士の接着にはEPP専用接着剤を推奨します。

接着面は成型のスキン効果のある表面を削り落とす意味で必ずサンディングをして表面を荒らしてください。硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

硬化して固くなるエポキシ接着剤は適しません。ELAPOR Form以外のバキュームプラスチックや成型プラ部品は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤

(ELAPOR Form側)が有効です。ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らしてください。(P32参照)

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。

#### 図1 (P15)

全体構成のパーツイラストです。

#### 図2 (P16)

モーターに付属のノイズキラーコンデンサーを半田付けします。

モーターカンでのショートに注意してください。

#### 図3 (P16)

機体下部にはサーボリード線用とアンテナ線用の溝があります。

これを胴体内に貫通させるための穴を開けます。

**図4** (P16)

舵面にホーンを取り付けます。キットのVer. によって図5の場合もあります。

舵面には瞬間接着剤 + 硬化剤が有効です。

**注意:** 回転動作するパーツに接着剤が入らないように注意します。回転部は軽く動作するように細心の注意を払ってください。緩み止めにはネジロックが有効です。

**図6、7** (P16)

キャノピーラッチを胴体に接着します。胴体に瞬間接着促進剤を吹きかけ、乾燥したあとにキャノピーラッチに瞬間接着剤をつけて貼り合わせます。

部品の向きには注意してください。(P32参照)

**図8** (P16)

バキュームプラスチック製のアンダーカバーを胴体に接着します。

前記と同じ工法で接着します。

**図9、10** (P16)

サーボを取り付け、ホーンとロッドでリンケージします。(P32参照)

サーボ用の溝はHS - 55用にカットされていますので他のサーボの場合はカットして位置を合わせてください。サーボの固定は熱で溶けるホットメルトのような樹脂で固定しても良いでしょう。またサーボを接着する場合はサーボケース内に接着剤が侵入しないようにテープ等を貼ってください。サーボのリード線を埋め込んだ翼部分はテープを貼り、空気抵抗を減らしてください。

**図11** (P17)

サーボカバーを取り付けます。後々のメンテナンスのために取り外し可能にしておく  
と良いでしょう。

**図12** (P17)

モーターマウントベッドを接着します。アンダーカバーを接着した時と同じ要領で接着します。

**図13** (P17)

モーターを結束バンドで固定してプロペラ、スピナーを取り付けます。

接着にはエポキシ接着剤を使用してください。瞬間接着剤ではプロペラとスピナーが溶けます。スピナーの先端に小さな穴を開けますと空気が逃げて容易に差し込む事ができます。本機体はプッシャータイプなのでプロペラの取り付けとモーターの回転方向は逆になります。注意して取り付けてください。

モーターの配線は後方から見て右回転になるようにします。

**図14、15** (P17)

モーターカバーを取り付けます。モーターの交換の為には接着せずにテープで止めると  
良いでしょう。

**図16、17** (P17)

キャノピーにラッチラグを接着します。接着の前に良く位置合わせを行なってください。

## 図18、19 (P18)

垂直尾翼、および上部カバーを接着します。垂直尾翼は傾かないように注意して接着してください。

### 受信機、スピードコントローラー、バッテリーの搭載

おおまかに重心が合う位置に搭載します。

特にバッテリーは飛行中に移動しないようにマジックテープで固定してください。

受信機のアンテナは機体下部の溝に沿って埋め込みます。

**注意:** 受信機のアンテナ線にモーター配線やバッテリー配線を密着させないでください。

ノイズが受信機に混入しやすくなります。

### 重心位置 (P32参照)

翼の下面に重心位置の突起があります。そこに正確に重心がくるようにメカを移動して慎重に合わせてください。

### シール (P32参照)

本機体の素材はシールののりが乗りにくい素材です。先にエンジンシンナー等で十分に拭いて表面をクリヤーにします。(最大30秒以内)

### 塗装

キャノピーのウインドはマジックフェルトペンでも着色できます。

塗装は受け付けにくい素材ですのではがれやすい事をご理解願います。

### エレボン舵角の設定

エレベーター操作のアップで舵面後縁にて上12ミリ、ダウンで下10ミリに設定してください。エレベーターの最大舵角はこれより各3ミリ以内を推奨します。

これ以上では舵面が失速する恐れがあります。

エルロン操作では上下5ミリに設定します(エルロンデファレンシャルは不要)。

### 手投げのヒント

この機体はうまく手投げしないと失速してしまいます。無理に上向きに投げずに水平に押し出す感覚で勢い良く手投げします。機速を殺さずに手投げするには熟練が必要です。

手投げ時にミキシングが可能な送信機であれば、エレベーターをアップ側に2ミリオフセットすると楽です。上空に達したらミキシングは解除してください。

機体は低速では失速しやすいので速度を殺さないように注意して飛行してください。

株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン <http://www.hitecrd.co.jp>

〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507

03-5767-6300、050-5519-4989 support@hitecrd.co.jp

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。